

令和6年度知事・市長意見交換会

日時：令和7年1月17日（金） 11:30～12:00

場所：高知県庁本庁舎2階 第一応接室

【高知県 松岡総合企画部部長】

ただいまから、令和6年度知事・市長意見交換会を始めさせていただきます。

はじめに、知事の濱田から挨拶を申し上げます。

【高知県知事 濱田省司】

一言ご挨拶を申し上げます。

桑名市長をはじめといたしまして、高知市の皆さんには、県都高知市の行政を預かりいただきまして、日頃から市民の方々と意思疎通をされて、人口減少をはじめ、様々な課題に真正面から立ち向かっていただいております。心から敬意を表したいと存じます。

高知県も、人口減少の克服が最大の課題と思っておりますので、何とか若者や女性に選ばれる高知、そして人口減少の中でも「活力あふれる高知」の実現に向けて前進したいと思っておりますし、ちょうど今日はくしくも阪神淡路大震災から30年という節目になります。

先日報道されておりましたように、南海トラフ地震発生 of 切迫度が80%程度に引き上げられるということで、この南海トラフ地震を中心とした防災対策を強化して、「安心して暮らせる高知」を実現することも、もう一つ大きな命題であろうと思っております。

こうした取組を前に進めていくためには、何といたしましても高知市は県人口の半分を抱えておられる県都でございますので、県市の連携が本当に大事だと思います。予算編成が大詰めに近づいているこの段階で、特に大きな課題について方向性をすり合わせていくという意味でも、本日の意見交換、特に南海トラフ地震を念頭に置いた消防の広域化、水道耐震化といった課題や公共交通の確保といった問題について議題として意見交換ができれば思っております。どうかよろしくお願いします。

【高知県 松岡総合企画部部長】

続きまして、桑名市長、ご挨拶をよろしくお願い申し上げます。

【高知市長 桑名龍吾】

今日はこのような場を設けていただきまして、誠にありがとうございます。

今濱田知事がおっしゃったように、高知市においても人口減少問題が大きな課題でございます。現在、人口約31万人の市でございますけれども、ここ数年は毎年3千数百人の人口減少であったところ、今年度は4千人規模の人口減少が見込まれており、危機的な状況であるわけでございます。

そしてやはり南海トラフ地震対策、先般も日向灘で大きな地震がありましたので、その脅威に対して危機感を抱いているところでございます。

そしてその中で、やはりこれは高知市だけの問題ではなくて、各市町村も同じような課題を持っているということで、県都高知市として今日の会議に臨ませていただきますけれども、高知市の課題を解決するとともに、各市町村の課題も解決できればというふうに思っておりますので、よろしくお願いを申し上げたいと思います。

【高知県 松岡総合企画部部長】

それでは、意見交換に移ります。

最初に、「1 人口減少対策について」に関しましては、まず桑名市長からご発言をよろしくお願いいたします。

【高知市長 桑名龍吾】

先ほどのご挨拶でお話しましたように、人口減少になかなか歯止めがかからないような状況でございます。そういった中、今年度は高知県人口減少対策総合交付金を創っていただきましてありがとうございました。高知市としてもこれを最大限活用するために、「人口減少対策プロジェクトチーム」を立ち上げまして、事業の立案、そして早期の予算化に向けて取り組んできたところでございます。

昨年9月の補正予算では、若者定着に特化した就職応援パッケージとして「資格取得支援事業」と「インターンシップ促進事業」を立ち上げるとともに、お試し滞在施設の拡充を実施してまいりました。

また12月補正予算では、観光や移住、ふるさと納税などのPRに加えて、子育て支援策や就労支援策などを網羅した情報発信を行う「シティープロモーション事業」を予算化したところでございます。

そして令和7年度の当初予算事業といたしまして検討しているのが、婚活に挑む前に準備をしていこうということで、婚活に向けた準備セミナーの開催によるスキルアップによってマッチング増加を図る取組や、今回高知ユナイテッドSCさんがJ3に参入されましたので、プロスポーツクラブとの連携による出会いと交流の促進というような事業も検討しているところでございます。

そしてもう一つは、濱田知事も進められております共働き・子育てを推進するため、県のワークライフバランス推進企業認証や国のくるみん認定等を取得する企業への支援なども、新たな取組として企画をしております。これらの事業について、これから査定に入るところでございます。

そして、今後も就職から出会い・結婚、妊娠期・子育て期までのライフステージに合わせた支援を切れ目なく提供できる体制を構築していくようにしており、お手元にお配りしたのが、今進めている取組の概略でございます。このように、重層的に支援をしていけば、切

れ目のない体制ができていくのではないかと考えております。

もう一つは、やはり人手不足が発生しておりますので、これまでは若い世代を対象にいろいろな就活の支援をしてきましたが、これからはシニア世代にも着目し、豊富な経験を活用する取組ができないか、これから研究をしていきたいと考えております。

またご支援のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。

【高知県知事 濱田省司】

人口減少対策に関しましては、特に総合交付金関係事業がこういった形で、総合的にまた重層的に早速検討いただきまして、特に連携加算型の事業計画の策定をいただきましてありがとうございます。

まず、県内全体を見ましても、今月末には県内 34 市町村全てで連携加算型の事業計画が提出をされるという運びになり、来年度いよいよ事業が出揃って本格的に事業が始まる勝負の年ということだと思いますので、来年度は、この事業実施に向けた県内市町村のバックアップ体制を特に強化したいと思います。

具体的には有識者の方にもご協力をいただき、計画事業の進捗状況のチェックや、あるいはさらに効果を上げるやり方についてのアドバイスなどもいただけるような仕組みを考えたいと考えております。特に、高知市は高等教育機関や企業が集中しておりますから、中山間地域の特に若者が県外に流出するのをその手前で食い止めていただくという、いわゆる人口のダム機能をしっかりと果たしていただくこと。それから二段階移住の形で、よく二重のゲートウェイというような形での役割を果たしていただくということが大いに期待されていると思いますし、県内市町村もそうだと思いますので、ぜひ、そういった視点も含めまして、県内全域をリードしていくような事業について、ご配慮いただければと思います。

そうした中で具体的な課題として、不妊治療費の助成拡充の課題がありまして、我々は今年度検討会を設けまして、検討してまいりました。もともとこれは数年前に保険適用になったときに、その当時の考え方として、高知市は中核市ということでこうした分野も所管をされることになるので、高知市エリアは高知市で、それ以外の県内のエリアは県でというような組立てをしたということになります。しかし、これについて、そういうある意味ちょっと形式的なことで県内のサービスに差があるのはどうかというご意見もいただきましたので、改めまして高知市さんにも入っていただき、県と市町村間の役割分担をもう 1 回整理をしようということになりました。基本は、前段となる一般不妊治療は市町村で分担をいただき、それからお金もかかる専門的な生殖補助医療は県で支援をしていくということを共通ベースとして設定した上で、生殖補助医療について、これは中核市だからということではなく、県内 34 各市町村のご判断で、県がベースとして行う支援措置に必要と考えれば上乗せも検討していただければというような方向で新年度対応したいと考えております。そうした意味で、高知市を含めた各市町村の皆さんには、生殖補助医療の前段となる、いわゆる一般不妊治療へどう支援していくかという部分の助成を担当いただくということでお

願いたいと思っておりますし、まさしく子どもを望まれる方々への支援ということで、また最近の出生の実績を見ましても、少子化対策としても効果がかなり高い施策でもありますので、ぜひこの点、今回の検討方針に沿った形で、高知市におかれましても対応、検討いただければありがたいと思います。

【高知県 松岡総合企画部長】

不妊治療費助成の拡充について、桑名市長からなにかご発言ありますでしょうか。

【高知市長 桑名龍吾】

これまで不妊治療については対応に違いがあったということでございましたけれども、今回生殖補助医療への助成制度について、県内での統一に向けて調整をいただいたことに本当に感謝を申し上げるところでございます。

また、これから生殖補助医療の前段になります一般不妊治療をしっかり拡充することで、若い世代の皆さんの治療が増えていくというようなこともありますので、その重要性を認識しているところでございます。

本市においてもしっかり助成ができるように調整、協議を進めていきたいというふうに考えております。

【高知県 松岡総合企画部長】

続きまして、南海トラフ地震対策としての「2 消防広域化と水道耐震化について」に関しまして、濱田知事から発言をお願いいたします。

【高知県知事 濱田省司】

南海トラフ地震につきましては、先ほど申しましたように、向こう 30 年間で発生確率が 80%程度という見通しということでございまして、いろんな臨時情報の発令などを見ましても切迫度が日々高まっているということであり、できる備え、あらゆる備えは全力を尽くしてやっておかなければならない。そういう中でまず、少し中長期にわたる課題であります。この消防広域化によって消防の現場力をしっかり確保していくという取組はなかなか大きな課題ではありますけれども、是非これは私自身、過去消防行政にも携わってきた経験もありますので、本気で進めていかなければならない課題だと思っています。

このために、県としての望ましい姿を議論のたたき台にさせていただこうということで、基本構想を年度内にはまとめようと思っております。昨年中に骨子案を出しまして、先日までに意見公募、パブリックコメントを集めたところですので、これを踏まえて今年度中、3 月下旬には県としての基本構想を策定いたしまして、改めて公表したいと思っています。

これに基づきまして、令和 7 年度は外部の有識者などにも入っていただいて、この広域化の基本計画の策定に向けた検討に入りたいと思っております。年度早々 4 月には是非

この検討会をつくりたいと思っておりますし、この検討会には全ての市町村、そして、消防本部に参画をしていただいて、具体化に向けた議論を丁寧に進めたい。目標としましては来年度中に基本計画の策定を目指して、取り組めればと考えています。

今、構想案としてお出ししている形で、県一本の消防広域化が実現しますと、全国初といえるケースになると思います。その場合には、人口でも半分を占めております高知市でありますので、もう高知市消防局は当然のことながら、中核的な役割を果たしていくということが不可欠だと思っておりますので、いろいろ課題はありますが、丁寧な議論をしていきたいと思っておりますので、是非、前向きにご参画をいただければと思います。

そしてもう1点、水道の耐震化でありまして、やはり能登半島地震を見ましても、この道路の問題と並んで、水道インフラの耐震化というのが本当に重要だということを改めて認識されたということだと思います。

これまでの取組の中では、特に市町村の耐震化の計画を進めるという中で、小規模の市町村の水道事業体の方では技術者が足りないという実務上の問題がありまして、高知市にご協力いただきまして、具体的には建設技術公社が担い手の形になりまして、発注者支援業務を実施することで市町村を支援する体制をつくってまいりました。

これにつきまして、高知市におかれましては、将来的には建設技術公社の水道担当者を高知市に研修生として派遣してノウハウを習得することや、OBの職員の方々に協力の呼びかけを検討していただくということで、体制づくりに協力いただいております、これを心より感謝を申し上げたいと思います。

水道の耐震化については、今回、国の方でも厚労省から国交省に所管が変わりまして、いろんな補助制度もかなり意欲的に拡充をされるということではございましたが、それでも、いろんな採択の要件などもあって活用できていない市町村も多いということですし、なかなかこうしたノウハウが小規模な市町村では乏しいということもあると思います。県としては、引き続き国の交付率引上げ、地財措置の拡充、採択要件の緩和、こうしたことを国に提言して実施を目指していくということもございしますが、県ないし市町村の現場サイドでは、広域化も含めて、経営基盤の強化についても検討していくということも必要ではないかと思っております。

また、この点消防に比べますと、現場での議論というのがまだ十分熟していない面はあるかなと思いますので、ぜひ水道事業に関しまして、県はそういう事業そのものの知見、技術がないわけでありまして、高知市さんがお持ちの知見、技術を生かしていただいて、高知市さんともご協力をさせていただきながら、まずは各市町村の水道事業の実務レベルでの意見交換、そうした形の中で、今までいろんな取組、例えばシステムの共同化とか呼びかけてきておりますが、そういったところに加えて、何らか広域化などが必要な部分があるのかどうかといったような観点も含めて、実務レベルの議論を仕掛けていくというところから始めたいと思っております。

【高知市長 桑名龍吾】

県一の消防広域化につきましては、先日高知市の方から意見書を提出させていただいております。その中で財源の確保とか人員の確保、処遇改善の調整など、クリアしなければならない重要な課題も山積しております。

来年度から県において設置される検討会の場で、将来的なシミュレーションを示していただきながら、県内各市町村とともに丁寧な議論を進めていきたいと思っているところでございます。

そして水道の耐震化につきましては、昨年の11月に四国地方整備局で開催された「上下水道事業に関する意見交換会」に私も参加させていただきまして、高知市の水道事業の実状、課題を発表させていただきましたが、この会議では、国が、水道事業のうち特に施設の耐震化に対して関心と危機感を持っている様子というのを見受けることができました。

そういったことがあり、公表された交付金制度の拡充などにつながってきているのではないかと思うところでございます。

しかし、先ほど知事がおっしゃったように、この交付金制度の活用もなかなかハードルが高いということもありますので、各市町村がしっかり活用できるよう国への提言もやっていかなければならないと感じております。

また、今後は、水道事業につきましては、本市が有する知見を活かせる部分があるかと思っておりますので、引き続き県のリーダーシップのもと、本市としても県内各市町村に対して技術的な助言を行っていきたいと思っております。

【高知県 松岡総合企画部長】

桑名市長からの、特に、消防広域化に関するご懸念について濱田知事からなにかありますでしょうか。

【高知県知事 濱田省司】

消防広域化に関しまして高知市でお持ちのご懸念はごもっともだと思います。

端的に言うとも広域化はいいけども、高知市民の負担で高知市エリア以外のところの消防の充実を図るというのはちょっと違うのではないかというご意見は、恐らく市民の皆さんに根強くあると思いますので、その辺のご懸念あるいは疑念というところをしっかりと払拭をしていくという作業が是非必要だと思っております。

そうした意味で、今お話が市長からありましたシミュレーションですね、人員配置をどうするのか、そして負担金の制度をどう設定するのか、大まかなコンセプトは基本構想に書いてありますけども、それに沿って具体的に現場がどう変わっていくのかというようなシミュレーションをしっかりとした上で、それをもとに議論していかないといけないと思っております。このために必要な調査の委託料などについては、県の7年度当初予算でも計上して、シミュレーションを行って、この検討会の場でお示しして議論をいただくという段取り

で進めたいと思います。そのためには、元データなども各市町村から、消防本部からいただく必要がございますので、ご協力をいただければと思います。

【高知県 松岡総合企画部長】

続きまして「3 公共交通の確保について」に関しまして、濱田知事から発言をお願いいたします。

【高知県知事 濱田省司】

はい、先ほどの消防広域化もそうなんですけれども、人口減少がさらに進んでいくというのは全国的に不可避ですし、特に高知県はその先頭を走っているということがありまして、先の県議会の中でもスマートシュリンク、賢く縮むという考え方が必要なのではないかと、いうご指摘もありまして、そういった観点も含めて、人口減少下でも持続可能な公共サービスの提供体制をしっかりと再構築をしていくということが必要な時代に来ているということだと思います。

そうした中でも、特に高知県は全国にも先駆けて人口減少が進んでおりますので、こういった課題に率先して、全国に先駆けて取り組んでいくという必然性があると思っております。特に今、県の中央部の公共交通の維持という課題が昨年にもですね、このバス路線の見直しなどについて、なかなか毎年毎年の見直しを弥縫策的に重ねていくのはちょっと限界に来ているのではないかと、いうご議論もあり、市長からも県として、広域的な自治体としてリーダーシップを発揮すべしというようなご意見もいただいたというように承知しておりますので、昨年ワーキンググループを設置した中で高知市さんにもご参画いただきまして、この中央地域の公共交通ネットワークを持続可能なものにしていくと、そのための検討を重ねてまいりました。

今、将来的な大きな方向性、粗々の将来像ということで、考え方の最終の取りまとめを行っている段階でございまして、これに関係する市町の皆様にもご確認を事務的にいただいているところでありまして、この点のご協力にご感謝申し上げます。いよいよ今後はこの方向性に沿って具体的にどういう対応を取っていくかということについて、財政的な支援の在り方も含めて、県市が連携して協力しながら取り組んでいく必要があるとしていきたいと思っておりますので、これも引き続き密に意思疎通をして進めさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

【高知市長 桑名龍吾】

本当に公共交通を巡る環境というのは、全国的に厳しさを増しておりまして、本市においても同様の状況でございます。

そして特に路線バスにつきましては、乗務員の確保に苦慮しておりまして、路面電車の運転士についても減少傾向にある中で、今後も減便や路線の見直しというものは避けて通れ

ない状況にあるのではないかと感じております。

本年度、高知県のリーダーシップのもと、関係市町と事業者によるワーキンググループにおいて、路面電車の在り方などに係る検討を重ねてきており、年度内には大枠の考え方が示されるとお聞きをしております。

お話にありました、将来的な人口減少等を踏まえた需要予測に基づく収入の見通しや、今後の維持管理や施設設備の更新に要する支出見通しなどについて、様々な要素を積み上げながらエビデンスに基づいた複数の収支予測を行う中で、より具体的な公共交通の在り方というものを見出していく必要があるのではないかと考えております。

本市におきましても、「地域公共交通・デザイン分科会」で有識者を含む市民の方々から様々な意見をいただいているところであり、今後につきましては、県が示す「将来の大きな方向性」と整合性を図りながら、中央地域における公共交通の在り方というものを見出してまいりたいと考えております。

持続可能な公共交通の新たなスキーム策定に向けた取組は、これから本格化していくところではございますけれども、今後とも広域交通を担う県のお力添えをいただきながら、関係市町と、そしてまた事業者とも連携をとってやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【高知県 松岡総合企画部長】

最後に、「4 その他」としまして、県市で情報共有していくべき事項等があればよろしくをお願いします。

桑名市長、何かございますでしょうか。

【高知市長 桑名龍吾】

先ほどのお話にもありましたけれども、昨年、高知ユナイテッドＳＣがＪ３に参入されました。

昨日も報道を見ましたけれども、秋田監督が就任されたということでございます。

これから応援の機運が高まるということもありますし、一緒に支援をしていきたいと思っております。

１月２６日に新体制の発表をするということでございますけれども、その場所を高知市役所の広場でやろうと計画しておりまして、もし雨であれば、市役所の中央玄関のところで、ファンの皆さん方に集まっていただき、発表しようと思っておりますので、またよろしくお願いしたいと思います。

【高知県知事 瀧田省司】

はい。

来月にはいいよいよＪリーグも開幕ということでありまして、悲願でありましたプロの公

式戦が本県でいよいよ繰り広げられるということでもあります。

2月23日がホームの開幕戦ということで、昨年9月はご一緒させていただきましたけども、また、開幕戦も私も応援に行ければと思っておりますし、何といたしましてクラブが活躍していただくことで経済面もそうありますが、本県の知名度向上、スポーツ振興、そして応援を通した若者の交流とかあるいは出会いの場ということにもつながっていくのではないかなというふうに期待をしております。引き続き県市がしっかり連携してクラブを支援していく、そして県民の皆さんの盛り上がりは是非ふるさと納税の制度などを使って促して、このクラブを支えていきたいと思っておりますので、これもご一緒に取り組んでいただければと思います。

【高知市長 桑名龍吾】

2月23日のホーム開幕戦に私も応援に行くようにしていますので、一緒に応援に行きたいと思います。

お願いいたします。

【高知県知事 瀧田省司】

わかりました。行きましょう。

【高知県 松岡総合企画部長】

瀧田知事、何かほかにありますでしょうか。

【高知県知事 瀧田省司】

あと、動物愛護センターの整備でございまして、これも長年の課題でなかなか着手まで時間を要しましたが、いよいよ令和7年度は造成工事に入るという工程に入ってきて、いよいよ進捗が目に見える段階に入ってきます。ハード面では建設設計に向けた意見交換、ソフト面では例えば動物愛護の啓発講習会、譲渡会といったイベントなどを共同で開催するといったような形で、この新しい動物愛護センターが最大の効果を発揮できますよう、これまで以上に県市の連携を深めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いしたいと思っています。

【高知市長 桑名龍吾】

動物愛護センターについては、これまで本市と連携をとりながら整備を進めていただいていることに感謝を申し上げます。

そして来年度以降も県市で協力しながら造成工事を進めていきたいと思っておりますので、引き続き連携をお願いいたします。

そしてもう一つは、造成工事に当たって、これは経費の比較分析というものも必要であろ

うかと思えますけれども、実は高知市の一つの課題でございます小松の沼の土砂を、もしこの造成に活用できればというふうに思っておりますので、その点また検討していただければと思います。

【高知県知事 濱田省司】

市の方での問題意識、課題認識は承知させていただきましたので、このセンターの造成工事、まず浸水対策で相当のかさ上げをしないとイケないということで、造成工事には8,000立米ぐらいの土地が必要になるというふうに見込んでおりますので、お話の点につきましても、次年度に実務的に市の担当課に相談をさせていただければと思います。

【高知市長 桑名龍吾】

特に土砂を減らすことによってその地域の皆さん方の安全というものも確保されるということになりますので、またご検討いただきたいと思います。

【高知県知事 濱田省司】

これも目に見える形で対策が求められると思います。

【高知県 松岡総合企画部長】

それでは終了時刻も迫ってまいりました。最後に濱田知事、一言お願いをいたします。

【高知県知事 濱田省司】

本日は限られた時間でありましたけれども、市長、両部長には来庁いただきましてご足労いただきましてありがとうございました。

人口減少、南海トラフ地震対策など、県市共通の重要な政策につきまして、特に予算編成を控えた時期に率直な意見交換ができて、大きな方向性について共通認識をすることができたと、大変ありがたいことだったというように思います。

新年度は特に、活力にあふれる高知、安心して暮らせる高知の実現を目指していきたいという意味で、本日議題となりましたテーマはいずれも必要不可欠なものばかりだと思いますので、本日の市長との意見交換も踏まえて、我々の方も今後の予算編成でしっかりと施策に生かしていきたいと思います。

今後も県市のさらなる発展に向けまして、密に連携をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

【高知県 松岡総合企画部長】

桑名市長、一言お願いします。

【高知市長 桑名龍吾】

本日は、人口減少下における消防の広域化、また水道の耐震化、そして地域公共交通の在り方といった積年の課題について大きな方向性を確認し、今後の連携について合意を得られたことは本当に大きな成果だと思っております。

引き続き、縣市共通の課題について様々な視点やアプローチで解決策を模索しながら、県市でしっかりと連携していきたいと思っておりますので、これからもお願いしたいと思います。

今日は本当に時間をいただきましてありがとうございました。

【高知県 松岡総合企画部長】

以上をもちまして本日の意見交換会を終了とさせていただきます。

どうもありがとうございました。